



一丸となって
まちづくりに
貢献する

医療法人社団
綾和会
間中病院



〒250-0012 神奈川県小田原市本町4丁目1-26
☎0465-43-8730 (地域連携室)
☎0465-23-3111 (代表電話)

綾和会×桂名会グループの
回復期リハビリテーション病院は、
東海地方に全部で7つ。

患者さまの病状・生活に
寄り添いながら
一人ひとりの目標を
患者さまと一緒に決めてまいります。
チームで目標の達成を目指す
リハビリテーション病院です。



各病院入院の問い合わせ先一覧

- | | | | |
|------------|----------------|---------|----------------|
| ■ 木村病院 | ☎ 052-781-1119 | ■ 掛川東病院 | ☎ 0537-23-7112 |
| ■ 重工記念病院 | ☎ 052-671-5161 | ■ 駿河西病院 | ☎ 054-623-5129 |
| ■ 瀬尾記念慶友病院 | ☎ 055-935-1511 | ■ 浜松南病院 | ☎ 053-443-2112 |
| | | ■ 間中病院 | ☎ 0465-43-8730 |



発症から
退院までが
分かる漫画
掲載!

一人ひとりに寄り添う
回復期リハビリテーションで
あなたらしい生活を再び

回復期リハビリテーションの手引き

回復期リハビリテーションの手引き

漫画で知る！回復期リハビリテーション 2

回復期リハビリテーションの基礎知識 …… 9

- 回復期リハビリテーションとは？
- 回復期におけるリハビリテーションの目的とは？
- 回復期リハビリテーション病棟とは？
- 入院対象疾患と入院期間について
- チームで支える専門スタッフ

知っておきたい！大事な数字 …… 11

入院から退院までの流れ …… 11

- 入院までの流れ
- 入院から退院まで

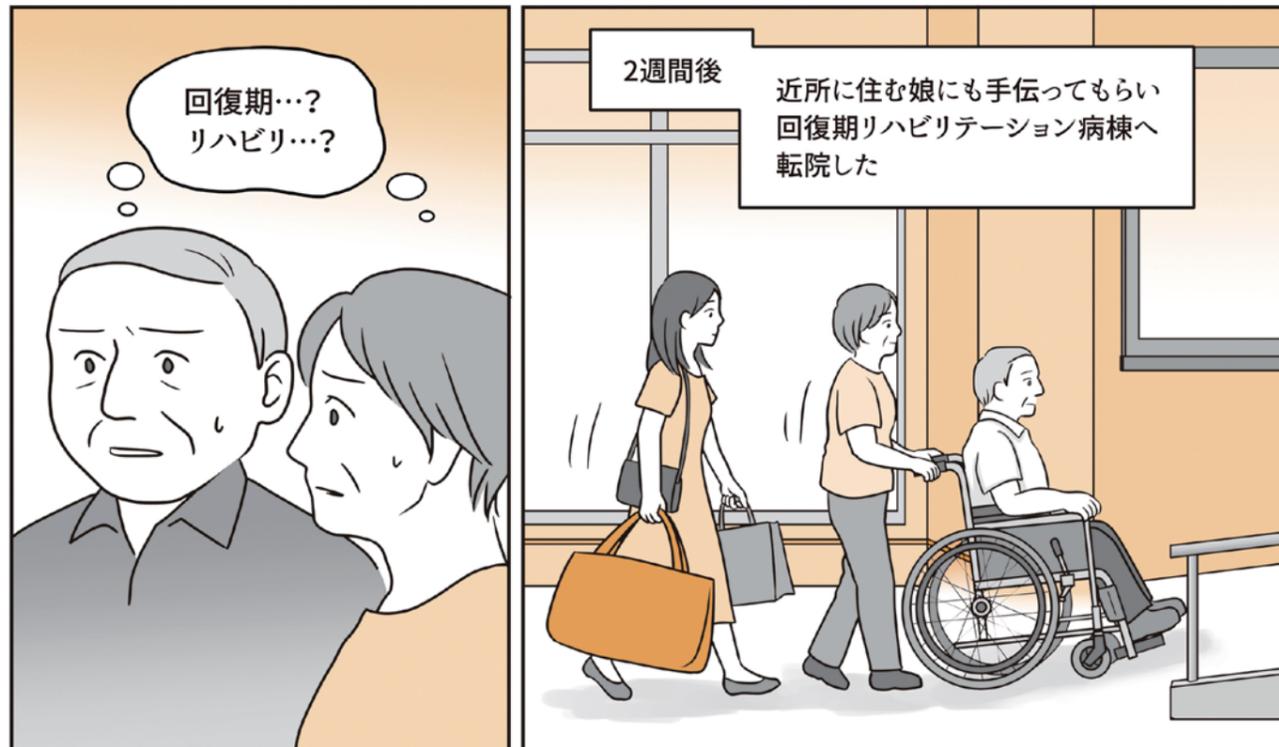
回復期リハビリテーション病院の1日 …… 13

回復期リハビリテーション病院紹介 …… 15

よくあるQ&A …… 17

漫画で知る！回復期リハビリテーション 脳卒中の発症から回復まで





1日のタイムスケジュール例 (脳梗塞の場合)

時間	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
行動	起床	身支度	朝食 (食事動作・口腔ケア)	リハビリ訓練		体操	昼食 言語聴覚士を中心に食事評価	リハビリ訓練		レクリエーション・面談	入浴		夕食	レクリエーション		消灯

1日3時間も…大丈夫だろうか?



回復期リハビリテーション開始

理学療法士 (PT)

発症前は普通にできていた、座る・立つ、歩くなどの動作が、疾患によっては難しくなります。スムーズな動作ができるよう、筋力トレーニングや歩行訓練などのリハビリを行います。理学療法士がマシンの使い方の指導や補助につくので、無理なくリハビリに取り組むことが可能です。

作業療法士 (OT)

生活していくために必要な動作や能力の回復を目的に、個々のライフスタイルや生活環境に合わせた作業療法を行います。調理訓練や布団での寝起き・掃除・洗濯ものを干すなど、実生活さながらのシミュレーションで退院後の生活に困らないように支援します。



言語聴覚士 (ST)

脳損傷によって起こるコミュニケーション全般の障害（失語症や構音障害）や、高次脳機能障害、嚥下障害に対して言語聴覚士が訓練のサポートをします。コミュニケーションや嚥下に関することからご家族へのサポートも重要です。



看護・介護職 (Ns・Cs)

病棟で過ごす「24時間すべてがADL（日常生活動作）リハビリ」ととらえ、看護師と看護補助者が援助。離床活動や社会交流を病棟の中でできる環境づくりも重要なポイント。ご家族の精神的なフォローアップなども行い、スムーズな退院の支援をしています。



着替えやトイレなど生活すべてがリハビリ

訓練以外もスタッフが支えてくれる





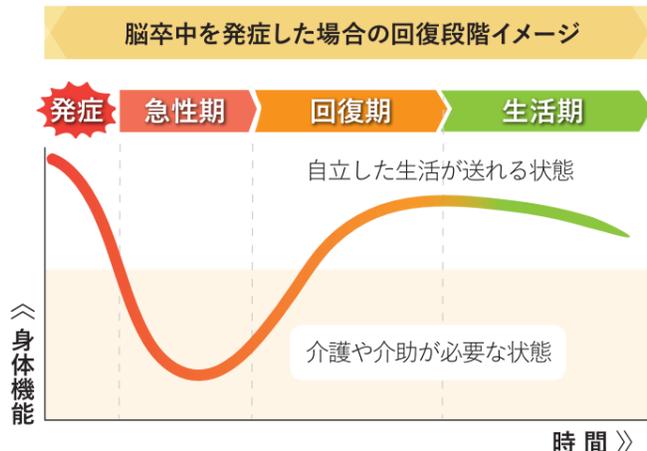
回復期とは？ 回復期リハビリテーションとは？

回復期

脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受けて、病状が安定し始める頃、発症から1～2カ月後の状態を「回復期」といいます。

回復期リハビリテーション

この「回復期」といわれる時期に集中的に行われるリハビリテーションのことを「回復期リハビリテーション」といいます。



回復期における リハビリテーションの目的は？

1 一人ひとりに寄り添ったリハビリ計画

リハビリのゴールは人それぞれで、年齢や生活環境、ご家族や周囲の状況により異なります。ご家族を交えた面談を入院前はもちろん入院中にも丁寧に行い、一人ひとりの症状や生活に合わせたリハビリプログラムを進めていきます。

2 「ADL改善」(日常生活動作)

入院生活のすべて、例えば、着替え・トイレ・食事・歩行・入浴することもリハビリの一環です。

3 「寝たきり予防」

リハビリプログラム以外の時間は寝たきりという生活にならないように生活リズムを整え、レクリエーションなどを設けています。

4 家庭復帰&社会復帰

住まいに戻り、発症前と同じような生活が送れるようになること、そして、仕事やこれまで行ってきた社会生活への復帰を目指し、必要な能力を養うリハビリを行います。

ご自宅の生活に合わせた リハビリ内容の計画

入院後早い段階でご自宅に訪問し、生活の様子や必要な動作を把握します。

訪問が難しい場合は…

ご自宅の写真や見取り図等から生活の様子を把握します。

年中無休365日の リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が1日最大3時間の訓練を集中的に行います。訓練時間だけでなく入院中の生活すべてをリハビリととらえ、24時間ケア・サポートを行う体制を整えています。



回復期リハビリテーション 病棟とは？

病気により低下した能力を再び獲得するためにリハビリテーションを行う病棟のことを「回復期リハビリテーション病棟」といいます。

一命を取り留めた急性期病院では、安静による筋力低下や心肺機能低下などを防ぐ為のリハビリが中心ですが、回復期リハビリテーション病院では、退院後の生活を想定したプログラムが生まれ1日最大3時間のリハビリを集中的に行います。退院後は、症状に合わせた地域のリハビリクリニックなどで継続的にリハビリを行います。

それぞれの施設の特徴



対象疾患	入院期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷（わんしんけいそうそんしょう）等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷の場合	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または2肢以上の多発骨折の発症後、または手術後の状態	90日
外科手術または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	60日
股関節または膝関節の置換術後の状態	90日

厚生労働省が定める 入院対象疾患と入院期間とは？

厚生労働省によって、入院対象者は左表のように定められており、疾患により入院期間が異なります。

この入院期間の中で、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰のために、一人ひとりに適切な内容のリハビリテーションプログラムが組まれます。

※左記は入院期間を保証するものではありません。リハビリの効果によって、退院時期は異なります。

チームで支える 専門スタッフ

患者さまに設定されたプログラムに基づき、医師、看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等が共同で集中的なリハビリテーションを提供します。



チームで取り組む 入院中のカンファレンス

患者さまに必要なケア・リハビリを多職種のチームで検討し、入院中に定期的に話し合うことをカンファレンスと言います。

知っておきたい！ 大事な数字

9職種



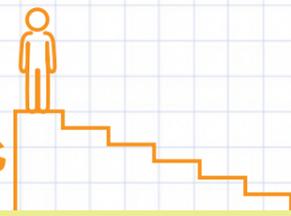
医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護補助者、医療ソーシャルワーカー。9つの分野の専門家が質の高いチーム医療を展開するのが、回復期リハビリ病棟の大きな特徴です。

365日



当グループでは、土・日・祝日もリハビリを受けることができます。365日リハビリを行うという、つらいイメージがあるかもしれませんが、でも実は、休日を挟むことでせっかくついてきた筋力が衰えてしまうため、回復期において、休日はマイナスの要素もあるのです。もちろん、患者さまの状態によって休むべきときにはお休みを設定し、無理のない「365日」のケアを提供しています。

6段階



「回復期リハビリテーション」の中でも、看護師やリハビリスタッフの人数、休日のリハビリテーション提供、管理栄養士の配置、重症患者の割合などによって、6段階の病棟基準に分けられます。そして、めざす治療の達成目標や入院にかかる費用もそれぞれ異なります。

最大3時間



回復期リハビリテーション病棟では、1日最大3時間と、リハビリを受けられる時間が長いいため機能回復効果が高くなります。20分を1単位として、例えば、朝に2単位(40分)、昼に3単位(60分)、夕方は4単位(80分)など、体調などを考慮しながら最大9単位(20分×9単位=3時間)受けられるということです。

3種類



あらゆる患者さまの状況を想定し、それぞれのゴールを設定した上で、リハビリ内容を決定します。リハビリ内容は、大きく分けると「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」の3種類。それらを組み合わせ一人ひとりに合ったプログラムを作成します。

70%



在宅復帰率は70%以上とし、回復期リハビリテーション病棟の基準が上がればさらに高い復帰率を目標としていきます。

入院から退院までの流れ

入院までの流れ

急性期病院からの紹介



急性期病院から回復期リハビリ病院へ連絡を頂き、症状やリハビリの必要性を検討し、入院の可否を決定します。

ご家族の入院前見学・面談



入院前に見学・面談をおすすめしています。事前来院が難しい際には、お電話での対応も可能です。

入院の決定連絡

転院・入院

入院から退院まで

カンファレンス

ケアプラン作成

入院後1~2週間後を目安に面談を行い、患者さまに合ったケアプランを検討します。

リハビリテーション開始

家族指導(介助方法)



歩行練習や車いすへの乗り降りなど、ご家族への介助指導を行います。

外出&外泊訓練



外出や外泊練習を行うことで退院までの不安や何が難しいのかを確認します。

退院調整



退院後の生活・療養に支障が出ないように地域医療やソーシャルワーカーと連携・調整します。

退院

回復期リハビリテーション病院の1日

午前 入院生活の1日

6:00 起床

7:00 朝の身支度：
洗顔や着替えなど



7:30 朝食

8:40 午前のリハビリテーション

整形外科疾患の場合

- ①筋力回復訓練
- ②義肢装具士・リハビリスタッフと靴や装具の検討
- ③福祉用具業者・リハビリスタッフと車いすやクッション等の評価・選定

脳梗塞の場合

- ①立位・歩行訓練
- ②義肢装具士・リハビリスタッフと靴や装具の検討
- ③福祉用具業者・リハビリスタッフと車いすやクッション等の評価・選定

入院に必要なことも行われます

- ・定期カンファレンス
- ・嚥下造影検査を含む諸検査
- ・順次入浴

12:00 昼食・トイレ・食後の歯磨き

モーニングリハビリテーション*



7:30~8:30の朝支度の時間は、個別リハとしてセラピストを配置し、トイレ、寝衣からの更衣、食後の整容までの一連のADL訓練を実施しています。

自分で着替えができるようにセラピストと一緒に訓練します。



理学療法士による筋力回復訓練の様子



発声の障害に対し、言語聴覚士の指導の下、練習することで話す能力を向上させます。

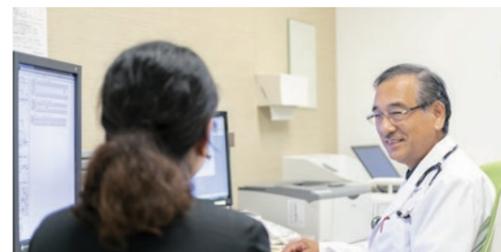
食前レクリエーション

食事前にはスムーズな嚥下の為に、言語聴覚士または看護・介護職員による嚥下体操を実施しています。



以前の生活でしていた料理や食器洗いなどの家事も再びできるように訓練します。

作業療法士と共にあそびを取り入れた作業療法で、知能レベルや身体能力を向上させます。



医師の診察や症状に応じた検査もこのリハビリの時間に組まれます。

イブニングリハビリテーション*



17:30~18:50の夕食前後に個別リハとしてセラピストを配置し、食後の整容、トイレ、寝衣への更衣までの一連のADL訓練を実施しています。

就寝前は看護師が体調や点滴の確認に来てくれるので安心です。



※モーニングリハ・イブニングリハを取り入れていない病院もあります。

入院生活の1日 午後

午後のリハビリテーション 13:00

整形外科疾患の場合

- ①屋外歩行訓練（病院敷地内・外）
- ②電車やバスを使用した乗車訓練
- ③近隣への買い物訓練

脳梗塞の場合

- ①立位・歩行訓練
- ②炊事・洗濯・掃除等の応用動作訓練
- ③装具等を用いた動作訓練

午後のレクリエーション

入院に必要なことも行われます

- ・定期カンファレンス
- ・嚥下造影検査を含む諸検査
- ・順次入浴



17:00

夕食 18:00

寝衣への着替え、歯磨き
トイレなどの就寝準備



消灯 21:00



1

間中病院



〒250-0012 神奈川県小田原市本町4丁目1-26
☎0465-43-8730

明治39年に創設された病院で、回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟があり、また訪問リハビリテーションを実施し、小田原市の地域包括ケアの中心を担っています。多職種連携に重点を置き、様々な職種が協働するサポートチームにて、摂食嚥下・排泄ケアなどに取り組んでいます。院内／外での職員研修により、多くの意見や最新の知見を取り入れ、患者さまの自己実現を可能とする一人ひとりに合ったリハビリを実施します。

2

瀬尾記念慶友病院



〒410-0822 静岡県沼津市下香貫島郷2773-1
☎055-935-1511

瀬尾記念慶友病院は、高齢化社会に対応した、生活の質の向上に寄与した治療の提供に取り組んでいます。整形外科治療においては60年以上の診療実績があり、地域包括ケア病棟では外来治療から急性期治療、リハビリによる家庭復帰まで一貫した支援を行い、回復期リハビリテーション病棟ではリハビリテーション専門医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が整形外科から脳血管疾患まで幅広い疾患に対応した治療を行っています。

3

駿河西病院



〒425-0062 静岡県焼津市中根新田1315
☎054-623-5129

駿河西病院は回復期リハビリテーション病床、療養病床、介護医療院を有し、併設した焼津ケアセンターと共に地域の皆様へ安心安全の医療と介護を提供しています。主な診療科は内科、リハビリテーション科があり、患者さまの状態に合わせた回復期及び維持期のリハビリ並びに、慢性期における医療管理や介護が必要な方々への長期療養を行っています。個々の患者さまの回復・復帰に向け、専門性を活かしたリハビリ提供に取り組んでいます。

4

掛川東病院



〒436-0030 静岡県掛川市杉谷南1丁目1-1
☎0537-23-7112

掛川東病院では、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟にて地域の急性期病院、診療所からの患者さまを幅広く受け入れており、患者さまの状態や要望に合わせた”病院と施設と在宅を繋ぐ”地域医療に貢献しています。病院と併設している介護施設での入所中の柔軟な対応や、退院退所後の訪問・通所で継続した質の高いリハビリ提供が可能で、在宅復帰後も24時間医療を提供できる体制を整えています。

5

浜松南病院



〒430-0846 静岡県浜松市南区白羽町26
☎053-443-2112

浜松南病院では、浜松市南部の地域包括ケアシステムの中核（病院）となるべく、整形外科、内科、消化器外科を中心に外来診療、急性期病棟、地域包括ケア病床、療養病棟での患者さまの受入、訪問診療を通して地域の医療ニーズに対応しています。また2020年10月新設の回復期リハビリテーション病棟では、患者さまとご家族様が望まれる『復帰』に向けたサポート体制、退院後のリハビリや訪問診療によるフォロー体制を整えています。

6

木村病院



〒465-0087 愛知県名古屋市名東区名東本通2-22-1
☎052-781-1119

木村病院は1972年に地域の健康管理、医療、リハビリテーションを担う目的で開設されました。現在は、回復期リハビリテーション病棟を58床で運営しています。地域の多様なニーズ、高齢社会に対応する為、介護老人保健施設、訪問看護・訪問介護、居宅介護支援事業所、デイサービス、デイケアを開設し、在宅生活を支える体制も充実させております。これからも患者さま、利用者様との信頼関係を深める事を目指していきます。

7

重工記念病院



〒456-0013 愛知県名古屋市熱田区外土居町7-8
☎052-671-5161

重工記念病院は、前身である三菱名古屋病院の専門性を活かし、整形外科領域を中心に若年、中年、高齢の方まで幅広い年齢層の利用者に医療を提供しています。近年は再生医療にも力を入れており、PRP（多血小板血漿）療法の届出承認施設でもあります。リハビリテーション部は外来・一般病棟に従事する職員と、回復期病棟に従事する職員がおり、職員の臨床・教育・研究能力向上、患者さま・ご家族様の満足度向上に取り組んでいます。

綾和会×桂名会グループは、東海地方に全部で7病院／344病床。地域の回復期リハビリテーションを支えています。

よくあるQ&A

入院について

Q 誰でも入院できますか？

A. できません。
回復期対象疾患の方のみ入院いただけます。詳細は右記表をご参照ください。入院に関しては、各施設へお電話でお問い合わせください。

Q どのくらいの日数入院できますか？

A. 疾患によって異なります。
疾患によって入院期限の上限があります。その期間内でリハビリの効果・適応などから総合的に主治医をはじめとする医療チームで退院時期の判断をしていきます。

Q 入院したい場合はどうしたらよいですか？

A. 入院中の病院にご相談ください。
入院までの流れとして、入院中の病院から回復期リハビリ病院に診療情報提供書を送っていただき、入院判定を行います。その後判定の結果、入院可能であれば家族面談などを行い、日程調整をいたします。ご希望の施設がある場合は、お電話でお問い合わせください。

対象疾患	入院期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷（わんしんけいそうそんしょう）等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷の場合180日	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または2肢以上の多発骨折の発症後、または手術後の状態	90日
外科手術または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	60日
股関節または膝関節の置換術後の状態	90日

Q 転院前に見学できますか？

A. 可能です。
お待たせしないために、ご予約されることをお勧めしております。

Q 入院費用はどのくらいかかりますか？

A. お電話にて詳細をお聞かせください。
保険や病棟、お入りいただくお部屋によって異なります。入院費の内訳は医療費・食費・自費（室料やリース代など）となります。お電話にてお問い合わせいただく際に、保険情報などをお伝えください。概算をお伝えすることが可能です。

リハビリについて

Q リハビリにはどのような内容がありますか？

A. 症状に応じて決めていきます。
歩いたり、移動手段の訓練を主に行う理学療法や、着替えや身の回りのこと、手の訓練を主に行う作業療法、言葉の練習を行う言語聴覚療法、物を飲み込む練習を行う摂食嚥下療法など多岐に渡りますが、患者さまお一人お一人に必要な内容をご提案いたします。患者さまの状況・状態を診察後、主治医やリハビリスタッフで話し合い、リハビリテーションの内容・計画を決めていきます。

Q リハビリは1日にどれくらい受けられますか？

A. 1日3時間です。
1日最大3時間ほどの個別リハビリに加え、病棟生活の中で活動性を高めるために集団体操やレクレーションを行います。また、必要に応じて自主訓練やご家族への介護指導なども行います。

Q 家族がリハビリの様子を見学はできますか？

A. 可能です。
お気軽にいらしてください。

退院後について

Q 退院後の家での生活が不安です。家の改装など一緒に見てもらえますか？

A. ご自宅への訪問もしています。
可能な範囲で、リハビリテーションの担当者やケアマネジャーなどご自宅を訪問させていただくことも行っております。必要に応じて住宅改修や、福祉用具のご提案もさせていただいております。

Q 退院後はリハビリの継続はできますか？

A. 医師の判断ですが可能です。
医師の判断にはなりますが、さまざまな方法でリハビリテーションを継続することが可能です。要介護認定を受けている方は、介護保険を利用してデイケアや訪問リハビリテーションを受けることが可能です。また、医療機関で外来通院しながらリハビリテーションを受けることもできます。制度の利用方法は複雑ですので、入院期間中に担当のソーシャルワーカーが患者さまのご希望や地域の状況を加味してリハビリテーションの継続について調整させていただきます。

Q 退院後の介護保険やサービスについて、生活の不安について誰に相談したらよいですか？

A. ソーシャルワーカーにご相談ください。
社会福祉士の資格を持ったソーシャルワーカーがご相談に応じますので、ご安心ください。介護保険の申請のお手伝いもしています。わからないことや不安なことがあれば、お声がけください。